



発行所 香川県小豆農業改良普及センター

〒761-4301 小豆郡小豆島町池田2519-2 TEL:0879-75-0145 FAX:0879-75-2477
URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/shozu/nogyo/> E-mail shozunokai@pref.kagawa.lg.jp

シリーズ

小豆島の
多様な担い手

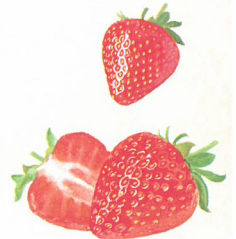
地域農業への想いを形に

イチゴ栽培の発展を目指して

～土庄町豊島 新屋 貴之 さん～



ブログ「香川県土庄町 豊かな島、「豊島」の地域おこし協力隊日記」より引用



土庄町豊島には、5名のイチゴ生産者がいます。そのうちの一人、新屋貴之さんは、令和3年に就農し、高設栽培で「女峰」を12a栽培しています。大阪府堺市出身で、大阪で会社員として働いていましたが、母の故郷の豊島で農業をしようと考えようになり、令和元年5月に豊島の農業振興を任務とした土庄町地域おこし協力隊員となります。地域おこし協力隊では、棚田の田植えや農作物の収穫イベントを企画したり、農作物を栽培して棚田の保全や景観を維持するほか、地域住民と交流しながら農業について学ばれています。協力隊の活動が2年目に入り、どの作物で農業を始めるか考えていたところ、島内の遠い親戚のイチゴハウスが空いていることを知り、農地機構を通じてタイミングよく借りることができたそうです。これまで、水稲や露地野菜等を栽培してきたものの、施設でのイチゴ栽培は初めてだったため、協力隊の活動を続けながら、島内のイチゴ生産者のハウスで栽培管理や収穫・パック詰めなどの実習を受けて勉強しました。令和3年9月にイチゴの苗を定植し、同年12月に初出荷を迎えます。以前勤務していた会社の先輩から、「地元関西のスーパーで新屋さんが作ったイチゴが並んでいる」と連絡が入り、とてもうれしかったとのこと。

現在、2作目の終盤を迎え、イチゴの栽培管理が忙しい中、ほぼ一人で作業を行っており、分からないことがあれば先輩生産者や指導員に相談しているそうです。収穫終了まであと一息です。頑張ってくださいたいです。

普及センターでは、現地巡回のほか、栽培講習会やスマート農業（環境制御等）に関する勉強会を開催するなど、栽培技術と収量の向上に向けた支援を行っています。地域農業を担う新しい担い手を積極的に応援します！

農業士・オリーブネットワークが島外研修で園芸作物の最新研究を研修

令和5年2月21日、香川県農業試験場及び府中果樹研究所において小豆郡農業士連絡協議会と認定農業者で組織するオリーブネットワーク、JA香川県小豆青壮年部の共催により、小豆郡青年農業者等先進地研修が開催され、農業士や認定農業者、新規就農者、関係機関担当者が視察しました。

まず、府中果樹研究所では、キウイフルーツ新品種の育成、「小原紅早生」のマルドリ栽培等について説明がありました。農業者からは、新品種の販売方法や特性、また当研究所で手がけている果樹の新品種などについて多くの質問がありました。

続いて、農業試験場では、農業者が栽培しているアスパラガス、ニンニク、ランタンキュラス、イチゴなど、作目別にコースに分かれて研究員から説明を受けました。アスパラガスでは、農研機構とともに改良した建設場資材を使った片屋根新型ハウスを見学し、実際に換気の良さを体験しました。

今回の研修で、参加した新規就農者からは「今まであまり話しをしたことがない農業者といろいろ話ができうれしかった。」との感想がありました。ベテラン農家と若手農家の相互理解を深める良い契機にもなりました。



果樹研究所の現場を視察



農試ランタンキュラスのハウス



研究員に質問する新規就農者

小豆島の果樹を考える会を開催

令和5年3月10日、小豆島町ふるさと荘において、当普及センターの主催により、島内の果樹・オリーブ生産者や関係者を対象に「小豆島の果樹を考える会」を開催しました。

当日は、管内の生産者や関係機関からあわせて47名が出席し、JA香川県本店園芸指導病害虫専任指導員渡邊丈夫氏による「果樹栽培における農薬の効率的な使い方」についての研修、かつて、本県農政水産部次長として3年間在籍経験のある公益財団法人中央果実協会副理事長 菱沼義久氏による「果物による好循環の構築」についての講演を行いました。

研修では、作用性の異なる薬剤を組み合わせたローテーション防除の大切さと農薬の選定、効率的な防除方法等について説明がありました。また、講演では、果樹を取り巻く情勢は厳しいとしたうえで、後継者が安心して継承できる取り組みや循環型農業に対応した取り組みを他県の事例などを交えながら、その重要性について訴えられました。



研修会の様子



果物PR用のハッピーを着て熱弁する菱沼副理事長

令和5年度 名誉農業士の紹介



藤本 龍男氏

「名誉農業士」は長年、農業士として優れた活動をされた方に「名誉農業士」の称号を付与し、感謝状を贈呈しています。

管内ではこれまで3名の方に「名誉農業士」の称号が知事より送られており、引き続き、後進の指導や地域農業の振興に尽力されております。



第59回香川県花き品評会

令和5年2月25～26日にサンメッセ香川で「フラワーフェスティバル2023」のメイン行事として、花き品評会が開催されました。

管内からは立ち毛の部で5点、生産物の部で19点の出品があり、下記の1点が香川県農業協同組合代表理事理事長賞を受賞されました。

当日のフラワーフェスティバルはコロナの影響があったにもかかわらず、大勢の来客があり、品評会は多くの方に観賞して頂きました。

たくさんのお品ありがとうございました。



(株)小豆島凛菊「弓戸の艶」

受賞区分	品目	品種等	受賞者氏名	住所
香川県農業協同組合 代表理事理事長賞	キク	弓戸の艶	(株)小豆島凛菊	小豆島町

農作業安全

令和5年春の農作業安全確認運動期間中です！

春作業が行われる3～5月を重点期間として「春の農作業安全確認運動」が全国で実施されています。

農作業事故のうち、死亡など重大事故の主な原因は“乗用型トラクターなどでの転落・転倒”で、ほ場内での作業中ではなく「農道等の走行中」での発生が大半です。

防止対策として、①転落・転倒のおそれがある危険箇所の確認、②危険箇所の補強と草刈りや目印の設置が有効です。併せて、死亡率を大幅に減らすことができるシートベルト装着やヘルメット着用にも心掛けてください。

